

埼玉県新座市シルバー人材センター会報

ゆうゆう通信

2022年7月15日 第112号



ケヤキの大木 大和田小学校付近

— 目次 —

- 2 頁 第43回 定時総会報告
令和4年度 事業計画（抜粋）
- 3 頁 令和4年度 役員・部会・委員会人事
- 4 頁 令和4年度 表彰者/安全標語表彰者
- 5 頁 新・職場探訪
株式会社 清水書院
- 6 頁 新・健康ニュース
熱中症とマスクのかけ方
- 7 頁 新座再発見
振り向けば昭和（夏編）
- 8 頁 言いたい放題 時事呆言
「印象に残った朝ドラは？」
- 9 頁 私のゆうゆうエンタメ
Movie/Book/Applique/ほか
- 10 頁 ゆうゆうエッセイ
写真で見るまちの変貌
- 11 頁 親睦会だより
令和4年度の事業計画/サークル紹介
令和4年度 親睦会役員
- 12 頁 掲示板
理事会報告/広報委員会からのお願い
編集後記/表紙の眩き

第43回 定時総会報告

去る6月26日、公益社団法人新座市シルバー人材センター（SC）の第43回定時総会が市民会館中ホールで開催された。

福島理事長の挨拶に続いて、SCに多大な貢献をして

いただいた事業所をはじめ、会員の方々を顕彰する表彰式を行った。（お名前のみ紹介）

受賞の対象となったのは5事業所の他、地区長・地区委員、職群班の正副班長、および委員会委員として功績のあつた方々。さらに長年にわたり理事等を歴任し、顕著な功績を残されて退任された方々に後日表彰状と記念品が贈られる。（4頁参照）

また、安全標語の受賞者6名の方々を表彰して同じく賞状と記念品が贈られる。

福島理事長報告

コロナ禍で2年続いた変則の総会開催から、今回は市民会館に会場を戻して開催しました。しかし、依然

としてコロナへの対策を求められる状況の中で、全てを元に戻しての開催は難しく、開催時間の短縮化とともに今回も会員の皆様にご協力をお願いしての開催とさせていただきます。



理事 長 福島 和 男

会員の皆様のご理解とご協力をいただき、総会を無事終えることが出来ました。改めて御礼申し上げます。

新しい年度、引き続きコロナの状況を注視しながらの、なお厳しさのなかでのセンター活動となります。課題となる会員の確保と就業の場の確保・拡大という基本の取り組みについて、改めてさらなる意識を高め

て活動してまいります。引き続き皆様の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年度事業計画

令和4年度センター運営の基本方針に基づき、次に掲げる項目について具体的に取り組んでまいります。

（主な項目を抜粋）

- ① 会員の拡大と意識の向上
- ② 市広報、新聞折込チラシ等を活用し入会の案内とPR
- ③ 会員による入会希望者の紹介運動等入会促進活動の推進
- ④ 移動入会説明会、女性限定説明会の充実
- ⑤ ホームページ活用による入会ステップの拡大とPR活動の推進
- ⑥ 新規入会者研修から始まる会員研修の推進と充実
- ⑦ 就業の拡大、就業活動の支援と適正就業への取組
- ⑧ 追加受注や新規就業に向けた開拓活動の強化
- ⑨ タブレット活用による就業開拓（PR活動）の推進
- ⑩ ホームページの活用促進と情報発信の充実
- ⑪ アクティブシニアへのイメージアップの取組
- ⑫ 出張相談や地域拠点型就業相談会の拡大、充実
- ⑬ 就業時研修の充実と就業活動等に必要なる各種研修・講習の效果的実施
- ⑭ 職群班活動の活性化を通じた就業意識の徹底やサービスの向上
- ⑮ 会員就業における法令遵守、適正就業への留意
- ⑯ 公益財団法人いきいき埼玉（県連合）の実施事務所として一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）及び有料職業紹介事業の運営と展開
- ⑰ 派遣事業（シルバー派遣事業）拡大に向けた営業等取組の強化
- ⑱ 安全の徹底と健康管理
- ⑲ 「第6次安全対策基本計画」に基づく各種施策の推進
- ⑳ 安全確保と事故防止に向けた安全巡回の実施
- ㉑ 毎月発行の安全ニュースや安全標語を活用した安全・健康意識の醸成
- ㉒ 他委員会、地区長との共同・連携による安全就業・事故防止の推進
- ㉓ 安全就業、健康管理のための各種研修、講習の充実と効果的実施
- ㉔ フレイル予防活動の推進、充実と健康サポーター育成
- ㉕ 健康・安全カードの活用による会員の健康、安全管理の推進
- ㉖ センター車両事故防止に向けた取組の強化
- ㉗ 特定業務（高所作業を伴う業務等）就業会員に対する健康状態の把握
- ㉘ 社会奉仕・地域貢献活動の展開と展望
- ㉙ 地域班活動としての地域見守り（児童見守り）活動や地区ボランティア活動の推進、活動への支援と統一ボランティア活動の実施
- ㉚ 市等地域施策との連携と協力
- ㉛ 成年後見事業の展開
- ㉜ 法人としての組織体制の確立と充実
- ㉝ 成年後見事業のPRの促進と相談・申立て支援体制の充実
- ㉞ 市等他機関との連携とネットワーク構築に向けた取組
- ㉟ 後見実務の確な遂行と新たな受任に向けた取組
- ㊱ 事業を担う担当会員のフォローアップと後継会員の計画的育成
- ㊲ 組織運営等
- ㊳ 公益社団法人としての経営（組織運営、財政運営）の確立
- ㊴ コンプライアンスの確保とガバナンスの確立
- ㊵ 新しい生活様式の下での活動の形等の研究
- ㊶ 情報発信機能としての会報の更なる充実
- ㊷ センターの魅力発信等センター活動のPR（以上）

令和4年度 役員人事決定

新役員紹介



理事 立川 正雄
住 所 新座市野寺
(第23地区長 安全委員長)



理事 太刀川 和男
住 所 新座市道場
(第20地区長 広報委員長)



理事 細沼 栄
住 所 新座市中野
(総務 副委員長)



理事 鈴木 明子
住 所 新座市東
(新座市議会厚生常任委員長)



理事 平野 静香
住 所 東京都千代田区
(新座市いきいき健康部長)



専務理事 片山 佳則
住 所 東京都武蔵野市
(新座市シルバー人材センター事務局長)



監事 飯塚 剛彦
住 所 東京都西東京市
(新座市財政部副部長兼財政課長)

退任役員

副理事長 有賀 健
理 事 五十嵐 恭子

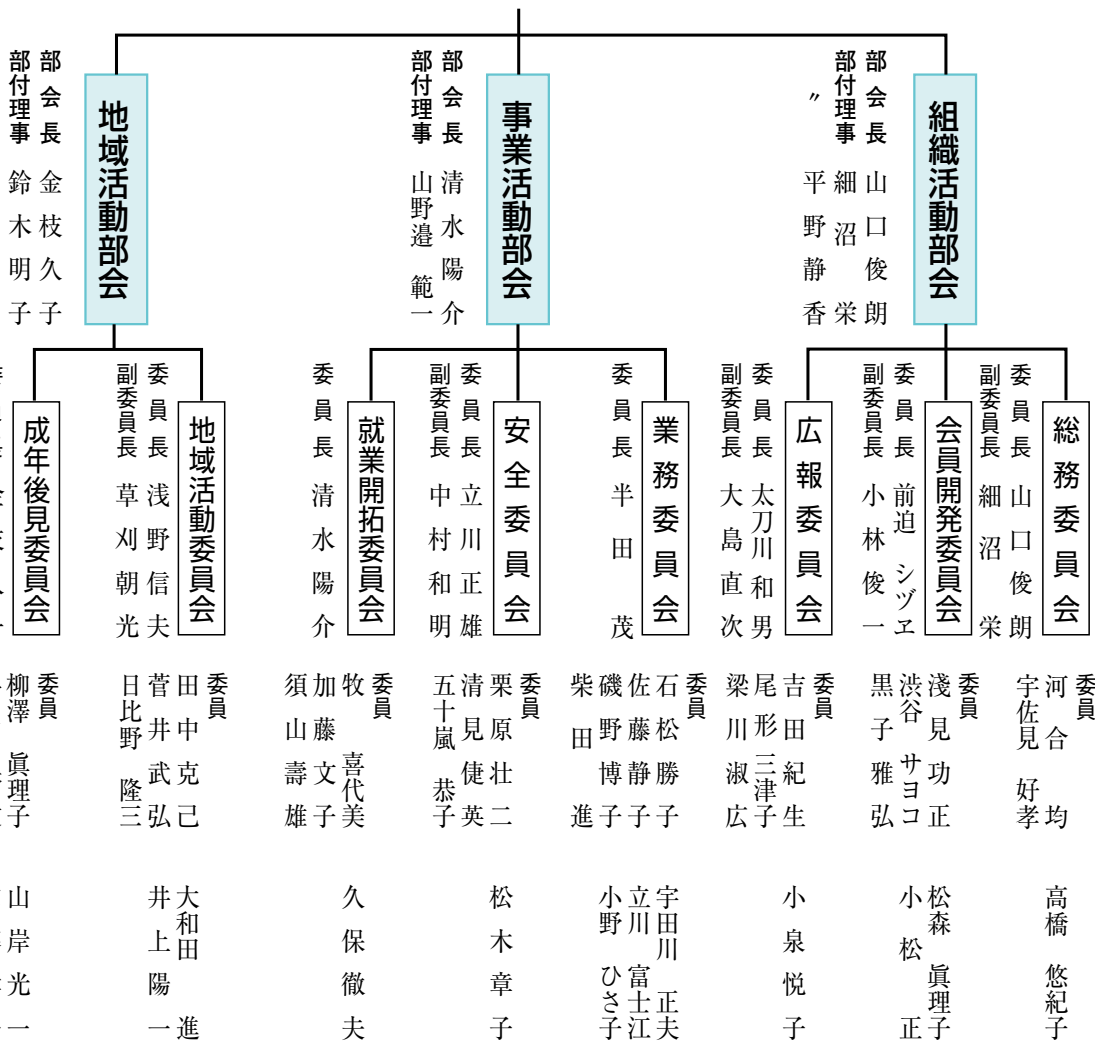
監 事 白井 敏
〃 櫻井 浩

退任される4人の役員の
方々です。ご苦勞様でした。

理事 長	福島 和男
副理事 長	石井 修
理 事	金枝 久子
〃	清水 陽介
〃	半田 茂
〃	山口 俊朗
〃	浅野 信夫
〃	前迫 シヅエ
〃	立川 正雄
〃	太刀川 和男
〃	細沼 栄
〃	山野 邊 範一
〃	鈴木 明子
〃	平野 静香
〃	片山 佳則
監 事	飯塚 剛彦

部会・委員会メンバー

一部、人事異動がありました。
令和4年度部会・委員会の新たな
メンバーを紹介します。



令和4年度表彰者

(敬称略)



中伏 和男



小菅 信吾



田中ハツエ



茂泉 太郎



下川由記生



須川英一郎



塚田 友徳



朝尾美智枝



久米 武一



貫井恵美子



(故)千田忠春



赤澤 正直



小田部孝義



梶崎 重信



原田 文男



澤邊 利夫



井口 芳枝



藤宮 栄次



柳川 孝



酒井 法一



山下 薫



佐藤 信吉



関口 和江



大掛 三郎



中川 直樹



奈良 忠志



工藤 冴子



大木 雅夫



石森とも子

地区長・地区委員・職群班正副班長として3年以上に亘りセンター事業に貢献し、その功績が顕著であると認められた方々

各委員会の委員もしくは役員としてその功績が顕著であると認められた方々

蓮光寺
公益財団法人新座市スポーツ協会
横浜植木株式会社
株式会社 ドン・キホーテ新座野火止店
トランポリン・パーク トランポランド

センターの発展に貢献された事業所等



五十嵐恭子



有賀 健



船津 実



臼井 敏

センター役員で退任した方々

《令和4年度》

安全標語優秀作品 (敬称略)

【優秀賞】

普段から慣れと油断は事故のもと
心引き締め我を見直す
村山裕比古



【入選】

大丈夫？心と体に問い合わせ
必ず受けよう健康診断
栗原 壮二



【入選】

だろうで渡るな曲がり角
一時停止が身を守る
金本 石王



【佳作】

災害ゼロはみんなの願いあなたの
ために家族のために
土屋 芳夫



【佳作】

平和願い健康願い安全願い
今日も頑張ろう
中澤 孝



【佳作】

健康の大事さ(大切さ)教えてくれる
毎月の安全ニュースは参考書
五十嵐恭子



新・職場探訪

(株)清水書院

笑顔が素敵な女性会員

本社は千代田区飯田橋であるが、新座に倉庫がある。誰もが一度は触れた事がある教科書・教育関連書籍の出版・販売を行っている会社である。

新座倉庫は保谷志木線と川越街道が交差する榎木ガード近くにある。本社は1946年創業の老舗である。新座は出版関係の企業が集まっているのだが、清水書院は開設して既に40年程経過。その中でも魁だ。建屋は増改築を繰り返し、現在のし字型になり、同社の物流拠点にもなっている。



清水書院の発送拠点

伊藤美智子さんと斉藤達子さんが派遣で働いている。伊藤さんの健康法は身体を動かすこと、「ソフトバレエ」、太極拳だけでは足りなくて、ジム通いで筋トレも。ストレスを貯めない生活を送ることが一番」とおっしゃる。



伊藤さん(左)と斉藤さん

ここでの就業は半年程だが、前職も印刷・出版関係だったので、戸惑いは無いとのこと。シフトは、月・火・水曜

日の週3日。午前10時から夕方4時まで。昼食時間1時間、手作りお弁当をいただく。3時半からは15分の休憩時間がある。通勤も車で15分程度。働くには丁度良いそうだ。

斉藤さんのシフトは1日多く、金曜日を入れて週4日。今でもお若いのが、「若い頃には油こい食べ物が好きだったのに、近頃は嗜好が変わり酢の物などサッパリ系になりました」とおっしゃる。

生活も「サッパリ系で気楽で元気」だそうだ。通勤時間は自転車で3分、歩いても苦にならない同じ町内。お二人が向かい合って、本改装の仕事風景が様になっている。

読者と本の出会うの場を創る

取扱うジャンルは学校向けであり、文芸作品等と比べると派手さはない。

従業員は30名程だが、殆んどが正社員であり堅実経営の企業だと推測出来る。

コロナ禍にあって、営業

部隊は苦勞していた。学校訪問が制限され、先生や保護者とのコミュニケーションが手薄になり、十分な商品説明ができずにいた。

また、書店も同様の状態にあった。学校という限られた空間だけでなく、出版社も書店も重要視している点は「読者と本の出逢いの場を創る」ことだという。

デジタル化などに挑戦

倉庫で管理している点数は変動があるものの300から400点が定番で、数量・金額に換算するとかなり膨大。



夥しい点数が並ぶ倉庫内

新しい取り組みとして、「デジタル化」と「図書館向けの〈調べの教科書〉辞典」に取り組んでいるそうだ。図書館向けの商品是一般向けと違い爆発的な販売

は見込まれないが、返品も少なく堅実に販売できるメリットがあるという。

SC担当は飯沼徹さん

SC担当は取締役製造部長の飯沼徹さんである。元々は取引先の印刷会社に20年程勤務していたが、専門知識を見込まれ、今の社長に呼ばれた。草加市の自宅からクルマ通勤で1時間、東京勤務時代と比べると新座は遠い。



家族は高校1年のお嬢様と3人暮らし。最近はお互いに干渉しあわない。趣味は一応読書。身体を動かすのが好き、特にサッカークラブ。昔は瞬間湯沸器といわれたが今は随分と気長になった。考える前に動き、失敗したらその時考える」

取材前はずっと年配の方と想像していたが、50歳。働き盛りの物腰でした。

(太刀川・梁川)

新・健康
ニュース

熱中症とマスクのかけ方

新座市保健センター健康計画係

マスク外していいの？

私たちのマスク生活ももう2年を超えました。外出時は、マスクを着けることが当たり前になっていますが、近年の猛暑では、熱中症も心配です。暑いときはマスクを外したくなりますが、本当に外していいのか悩んでいませんか？

屋外・屋内でのマスクの着用について

令和4年5月20日に厚生労働省から、マスクの着用の考え方が示されました。

○屋外では、他者との距離（2m以上を目安）が確保できる場合、又は会話をほとんど行わない場合は、マスクを着用する必要はありません。

○屋内では、他者との距離（2m以上を目安）が確保できており、かつ会話がほとんどない場合は、マスクの着用は必要ありません。○マスク着用は従来同様、基本的



な感染防止対策として重要です。一人ひとりの行動が、大切な人と私たちの日常を守ることに繋がります。

○夏場は熱中症防止の観点から、屋外の「着用の必要がない」場面、マスクを外すことを推奨します。

	身体的距離（2m以上を目安）が確保できる		身体的距離が確保できない	
	屋内（注1）	屋外	屋内（注1）	屋外
会話を行う	着用を推奨する（注2）	着用の必要はない	着用を推奨する	着用を推奨する
会話をほとんど行わない	着用の必要はない	事例1	着用を推奨する 事例3	着用の必要はない 事例2

熱中症予防のワンポイント

▼水分補給のポイント

1〜2時間に1回など時間を決めて、喉が渇く前にコップ1杯を目安に飲むようにしましょう。

▼熱中症になってしまったら

すぐに涼しい場所へ移動し、安静にして、身体の太い血管が通っている脇の下や首、太ももの付け根などを冷やし、経口補水液を飲んで水分と電解質（ナトリウム・カリウム）を補給しましょう。

（注1）外気の流入が妨げられる建物の中、地下街、公共交通機関の中など。
（注2）十分な換気など感染防止対策を講じている場合は外すことも可。

事例1 ランニングなど離れて行う運動。
事例2 徒歩での通勤など屋外で人とすれ違うような場合。
事例3 通勤電車の中。

新座再発見 灌島 浩二
振り向けば昭和(夏編)

皆に会えるお盆の風習

八月十三日、盆飾りを作り仏壇の位牌やその他全てをそこに移し、ナスやキュウリで動物を作り、スイカやサツマイモやトウモロコシなどを備え、まさに仏壇の引っ越しだ。



お盆の風景

この日の夕方、松明を持って早目にお墓へご先祖様をお迎えに行く。お迎えは早め、お見送りは十五日の夜遅くがご先祖様への敬意だと聞く。お迎えの日、お墓で松明に火を点け道の角々に火の粉を落としながら家に戻る。ご先祖様の道標のためだ。こうしてご先祖様の霊をお迎えしたのだ。

十四日は、親戚の方々が供養に来て下さる。久しぶりの出会いにお互いの健康

を喜び会い、世間話に花が咲き、この日ばかりはとて賑やかな一日となる。

お盆という風習は、普段はお互いが忙しくてなかなか会う機会が無いからご先祖様をダシにしてこの日を設けたのか。「みんなが健康で仲良くしなさいよ」という意味で。昔の方はとても理にかなった風習を作ったものだ。

家族総出で西瓜の収穫

新座市辺りは東京の大量消費地に近いという優位な地域性があったから、昔はいたる所に西瓜畑があった。



西瓜の収穫

しかし、道路網が整備されるとその土地の気候風土に適した高品質の農産物が大量かつ速やかに全国から入荷するようになった。そ

の為、次第に作付けが減少し、今では全くと言っていいほど西瓜畑は無くなった。当時の西瓜の味や収穫について思い返してみた。

夏の盛り、ツルベ井戸や穴蔵から出した西瓜は歯が浮く程冷たく、みずみずしくて甘い。それは最近の西瓜よりもはるかに旨かったような気がする。

何反もの畑が西瓜畑だった頃の収穫は家族総出の大仕事。畑の奥から農道のリヤカーまで少しずつ間隔をあけて並び、次から次へと投げては運び出す。落とせば一巻の終わり。他の農作業にはない面白さがあった。

月明りを頼りに蛍狩り

深さ十五センチ程度の中沢川は、八幡様(現武野神社)の崖下から湧き出た流れが、妙音沢辺りの黒目川へ落ちるまでの短い川だが、そんな自然豊かな小川に多種多様の動植物が棲息する。夏に入ると一斉にホタルが飛び交う。

子どもたちが待ち望んでいた蛍狩りが始まる。風が止んでムシムシする夏の夜

の田圃は水場のせいだ涼しい。辺りは無数のカエルが煩いぐらいに鳴いている。

月明かりだけが頼りのホタル狩りは、川の土手や田圃の畔道が見えづらいうが、子供達は良く知りつくしている。川や田圃に落ちる事は無い。「カヤの葉っぱに止まって光っているのは蛇の目かも知れないよ」

などと脅かされながらも、夢中で獲ったホタルを持ち帰っていたのは、ついこの間のような気がする。



蛍狩り

夏が移ろう蝉の鳴き声

私は、当時の地名でいえば埼玉県北足立郡片山村字前原とあって、東京都練馬区西大泉と隣接している、武蔵野のど真中の農家で生まれ育った。

母屋の北側には杉や檜の木々の常緑樹、東西と南側はケヤキやモミジ・柿や梅の木などの落葉樹が植わって

いる。その中でもケヤキはどれも二人がかりで抱えるほどの大木だから真夏の日差しも木漏れ日となつても凌ぎやすい。



蝉取り

夏の初めに鳴く蝉は体が小さいからチイチイボウ。ジイーと平坦なリズムで鳴き続ける。次はアブラ蝉。

その鳴き声は更に大きく蒸暑さが増幅してしまう。そしてミンミン蝉。ジリジリと熱波が襲ってくるような鳴き声。

八月のお盆を過ぎるとカナカナの声とともにオーシンツク・オーシンツク。この鳴き声は秋の到来を感じさせ、柿や栗の実りを思い起こさせる。

蝉取りは、竹竿の先に針金で輪を作り、そこに蜘蛛の巣を絡めて網を作る。蝉を狙ってくっつけて捕るのだが、とてもよく捕れた。(次回「秋編」をお楽しみに)



言いたい放題 時事 呆言



印象に残った朝ドラは？



▶大学の偏差値を上げた？「あさが来た」◀

現役を退いて朝の時間に余裕が出来た頃から朝ドラを見るのが習慣になった。舞台となった場所が人気スポットになったり、出演者がブレイクしたりと、大きな影響力を持っているのは承知していたが、まさか大学の偏差値まで上がるとは思っていなかった。

「あさが来た」は女子教育の先駆けとなった日本女子大学の創立発起人「広岡浅子」の物語である。明治から大正にかけて活躍した女性実業家を女優の波留が演じていた。ドラマ終了後、翌年の大学偏差値ランキングを見て大幅アップにビックリ。したり顔で同大を卒業した娘に連絡すると、反応は鈍く「へえ、そうなの」で終り。
(拍子抜けした男 道場74歳)

▶母の朝ドラ今いすこ◀

母がぼつり言った。「尾道へ行ってみたい」「いつかね」と父。半年経った頃、また母が「宮崎にも行きたいね」その時も父は「仕事が一段落したらね」度々そんなやり取りがあった。朝ドラを見ていた母は舞台になったロケ地の美しい風景に憧れがあったようだ。

尾道は「うず潮」、宮崎は「たまゆら」のロケ地だ。父は退職後に罪滅ぼしだと言って、母と関西、四国、九州方面を何度か旅をしている。「お父さんとはどこへ行っても必ず雨に降られるのよ」母がよく言っていたが、嬉しそうだった。今も二人仲良く雲の上で憧れの地をかけ巡っているだろうか。雨に降られることはあるまいが。
(県民割を天国に贈る男 大和田70歳)

▶朝ドラの音楽を背に登校◀

昭和36、7年頃の高度経済成長期、私は中学生で、朝ドラの15分間はストップウォッチスタートでした。ドラマは断片的にしか印象に残っていないけれど、朝ドラといえば何故か通学途中の光景を思い出すのです。

学校まで15～20分の道のり。大手印刷会社、出版社、製本所、写植工房の横丁を通り抜けます。写植や製本所の窓は皆開けてあり、丁度朝ドラの後半と思われる音やエンディングテーマ曲がかなりの音量で聞こえてきて活気がありました。帰宅途中に写植工房の中を見せてもらい、裸電球の下で黙々と文字組みをする地味な作業にとっても感銘を受けた思い出が私の朝ドラなのです。
(昭和のキラキラ少女 東73歳)

▶毎日成長していく家◀

毎日のように鍋や釜が揃い、家具が次々と増え、部屋が四方八方々に増築され、社員も増えていく。「あ、テレビが来た、今日はソファが増えた、明日は何が増えているかなあ」と妻が声を出して視ていたドラマがある。2010年の「ゲゲゲの女房」だ。

1960年代の高度経済成長期を背景に、戦争で片腕を失くした売れない漫画家・水木しげるの女房・武良布枝が書いた自伝的エッセイが物語の下地になっている。まさに赤貧舐めるが如き生活から、徐々に「ゲゲゲの鬼太郎」が売れ出してゆく。社会の活気と家の成長として描いたドラマは、当時の自分と溶け合い共感できるドラマだった。
(ドラマレスな男 北野71歳)

▶白黒画面に輝く振袖姿◀

テレビ放映を視聴するには時間的なタイミングが必要だ。再放送が頻繁に視られる時代ではなく、勤め人であればなおさら限定される。そんな中でも印象に残る朝ドラがある。1966年に放映された「おはなはん」だ。

20代の初めに寄宿していた寮の食堂で不味い朝食をとりながら視た。主演の堅山文枝が婚約者の高橋幸治と初めて出会う冒頭の場面では、振袖姿の堅山が満開の桜の木から飛び降りるなど白黒画面でもキラキラと輝いて見えた。だが、物語は日露戦争前夜の政情不安な時代に。過酷な運命に翻弄されながらも懸命に時代を駆け抜けた一人の女性の生き様を丁寧に描いていた。

(粗末な寮の朝食を思い出す男 野火止75歳)

▶職住一致で「おしん」に親近感◀

テレビドラマの最高視聴率記録(62.9%)を持つ「おしん」を見たのは、朝ドラ100作放送記念で2019年度に丸々1年間BSで何度目かの再放送。前期は100作目の「なつぞら」と合わせて連日30分を朝ドラに費やした。当時は職住一致の勤務だったため、1983年度の初放送の頃と違って通勤時間を気にする必要なし。

職場は、脚本の橋田寿賀子と母親役の泉ピン子が住む熱海に近く、ドラマの舞台となった山形にはかつて転勤で2年半暮らした親近感もあった。今更書くまでもないが、「名作中の名作」でした。朝ドラって、こんな見方でいいですよ。

(朝ドラに30分を捧げた男 北野65歳)

私のゆうゆう エンタメ

映画 音楽 文学 芸能 スポーツ などなど

会員の皆さんのこれまでの人生で、心に残った経験や作品や1シーンなどをご紹介ください。ジャンルは問いません。約380字と写真やイラストです。

Movie

(野火止 7 尾形 三津子)

「ひまわり」(I GIRASOLI)

1970年に初上映されたイタリア映画。今年、日本各地の映画館で再上映が続く。あのヒマワリ畑の撮影地がウクライナ南部のヘルソン州だからだ。今回ロシアの侵攻



で3月にロシア軍に制圧されている地域だ。私はスクリーンいっぱいのヒマワリ畑をまた見たくて、50年ぶりに新宿の映画館に行った。

映画の中で住民が「あの下には夥しい数の人が埋まっている」と言う。再び同じことが起きていると思うと、切なかった。また、チェルノブイリ

ではないのだが、発電所の冷却塔が映る場面があって驚いた。主演はソフィア・ローレンとマルチェロ・マストロヤニ。第二次世界大戦で東部戦線に送られたままの夫を探して、妻がソ連まで行く。二人は再会したが、最後は別れを選ぶ。ヘンリー・マンシーニの音楽にまた涙する。今回初めて、エンディングで畑のヒマワリがみな悲しそうに頭を垂れていることを発見して驚いた。

Appliqué

(東 2 いずみ えつこ)

手間がかかるけれど楽しい!

私がアップリケを本格的に始めたのは、30年以上前です。きっかけは子供が幼稚園で使う持ち物として、手作りの給食袋、上履き入れ、連絡帳入れ、トートバッグなどの準備をしたことです。私はこれだけで終わるのはつまらないと思い、小さな作品を作って展覧会に出品したり、アップリケの年賀状を作ったり、絵本にして欲しいと幼稚園からの依頼で作ることもあります。

製作過程は、構図考
え作成→フェルトとステッチ用の刺繍糸の色を決定→図案化→バック生地に置いて調整→各パーツに型紙を切る→型どりしたパーツを



生地に軽く貼り付け→アウトラインステッチで縫いつけ→作品に当て布をしてアイロンをかけ完成! 手間はかかりますが、その過程が私にとっては楽しい時間でもあります。

BOOK

(道場 1 太刀川 和男)

「金田一先生が語る日本語のこころ」(金田一春彦 著)

雑学書は、たいして役立つことはないが気持ちがホットする。2003年発行のふた昔程前の古い本だが、時々思い出したように読み直す。季節や自然や人の営みに関する日本語の由来等を、時代の移り変わりや地方や外国の文化と比較しながら、エッセイ風に書かれている。

その中に「藤山一郎さんとト音記号」という一節がある。30年来の文通の間柄だが、封筒の封じ目に締(メ)を使わずにト音記号が書いてあり、流石に音楽家らしいと思っていた。ところが、これにはもっと深い意味があった。戦前ト音記号は「ト字記号」と言い、ハニホヘトのトの音を表した意味だったそう。藤山さんは「閉じる記号」と洒落て封じ目に使っていたのである。こんな二人の親交のエピソードが掲載されている。又、中国語にない漢字を国字と言うそうだが、「働」も本人以外の為に動き、働きな



からそれを楽しむことが本来の意味だそうだ。

Botanical picture book

(大和田 5 I.O.)

自家版「植物図鑑」

私にとってウオーキングは欠かすことができないストレス解消の日課だ。歩数計測はスマホまかせだが、1日8千歩以上を10年近く続けている。道端に咲く花や野草など思いがけず見知らぬ植物に出会うと写真を撮り、調べる。

かつて私はバッグに「散歩の花図鑑」など数冊入れていたが、結構肩に負担がかかった。今はスマホで「グーグル・レンズ」というアプリによって変わった。

写真を撮り、検索すれば瞬時に名前が分かる。

自宅ですらに詳しく調べ、自分なりの植物図鑑を作るのが楽しみの一つである。最近、



大和田の畑で撮った珍種『雲南地湧金蓮』が畑の端にポツンと立っていた。私の図鑑に加えることにした。



写真で見る

まちの変貌

野火止5丁目 井口幸雄

私達の写真クラブが「新座の今を撮る」という運動を始めて四半世紀が経ちました。

今年も第25回の「わがまち新座写真展」を開催し、最終日に並木市長等をお招きし、中央図書館への作品アルバムとCDの贈呈式を実施しました。これが毎年変わらず続けているセレモニーであり、大切な行為なのです。



第4回初出品作品

写真教室入門

私がかんとした写真を撮るために、畑中公民館の

写真教室に入ったのはこの写真展スタートの頃でした。当時はまだフィルムカメラが中心で、写真を撮ることに撮る事が実は大変でした。



腕を上げて出品した第7回 作品

カメラの進歩?には驚かされます。「これでは大きく伸ばせない」と先輩方に指摘され、写真の撮り方を必死に学び、何とか一人前の写真が撮れるようになりました。

今は誰でもシャッターを押せば、人並みの写真になる時代です。しかしながら

「作品」を撮るのは難しく、それを手取り足取り教えたのが教室主宰の故小島昭三先生でした。

わがまち新座写真展

この写真展は、小島さんが市制20周年の際、古い新座の写真収集ができないと耳にしたのが始まりです。

朝霞や志木は写真を趣味とする人がいて、古い時代の写真が残っているのに、新座はほぼ皆無だという事が新座在住カメラマンとして、残念だったと小島さんは回顧していました。

「今の新座の姿」をコツコツ撮って次代に残そう。何十年か経てば立派な資料になるからと思ひ立ち、9クラブの主宰者に声をかけ

賛同を得た7クラブ100名ほどでスタートしました。毎年の「新座の今」の写真アルバムとCDにし、図書館に寄贈、保存してもらおう。そんな地道な作業は25年続きましたが、近年ではメンバーが30人前後と減少し、継続が難しくなってきました。

写真文化の変化

今の写真文化は、SNSやLINEに写真のアップを楽しむグループと、作品を撮る集団に二分され「今の新座」を保存する意味合いに対する理解が薄れてしまいました。

中央図書館の2階には「わがまち新座」という金箔押しの立派なアルバムが



野火止7-7の同場所を撮る

令和3年(上)と平成20年(下)の比較



きちんと保管され、いつでも閲覧が可能で、改めると見比べるのと志木駅、新座駅周辺の



第25回展示作品より 志木駅前の変貌

変化は驚きです。右は昭和43年と令和3年の志木駅前の比較です。6枚の写真をつないでみました。貴重なこの写真展は、何とか続けていきたいものです。

▼親睦会だより (令和4年度総会)

頼られる親睦会に向けスタート

親睦会会長 後藤 勝義

皆様には日頃より親睦会にご協力いただき、ありがとうございます。

令和4年度の総会は、6月26日(日)、市民会館中ホールでSC定時総会にひき続き開催しました。



親睦会会長 後藤勝義

今回は新型コロナウイルス感染も減少傾向にあり喜ばしい限りです。参加者の表情も明るい様子でした。SC事業はシルバークラブ会員の「就業活動」などの社会的

役割を基本としておりますが、親睦会は新春のつどい・フェスティバル・春、秋の日帰り旅行・サークル活動など会員相互の交流が目的です。しかし、令和2年からの新型コロナウイルス感染拡大で親睦会事業はほとんど出来ない状況でした。

今後とも予断を許さない事が続くと思えますが常に手洗い・うがい・毎日の体温を調べてお過ごしください。

今年度、親睦会は2名の新役員を迎え、総勢13名の役員でスタートいたします。

役員一同、皆様の御期待に添えるよう努力して参りますので、ご協力ご鞭撻の程宜しくお願いいたします。

令和4年度の事業計画

今年度の親睦会活動は次の6項目を進めてまいります。

①新春のつどい

年のはじめに挨拶と健康を確かめ合い。明るく親睦を深められる様な企画を遂行してまいります。

②シルバークラブフェスティバル

本年度11月頃、親睦会独自に文化祭的な催しを模索検討して参ります。

③日帰り旅行 春・秋

春の日帰り旅行はコロナ禍で中止、秋の日帰り旅行は本年10月頃実施予定。現在行先を検討しております。

④サークル活動

今年度も助成金を7月中旬に実施します。

新しく活動を開始するサークル及び各サークルの参加者を募集しております。

⑤地域活動と連携強化

親睦会役員が各地区の懇話会等の会合に積極的に参画、会の行事、案内・計画を報告し、地区会員の皆様と意見交換、会の発展に寄与するようにします。

⑥福利厚生について

本年も地区の福利厚生の一助として「地区厚生事業助成金」を配布します。

サークル紹介 「ハイキングサークル」

コロナ感染の影響でほぼ2年間活動休止の状態でしたが、本年5月15日に総会を開催し活動を再開しました。「高麗郷と巾着田」、「狭山公園とトトロの森」、「清澄庭園と江戸下町散策」など、年6回、2か月に1回のペースでハイキングする予定です。

戦争やコロナ感染症など暗い報道ばかり。気持も内向きになりがちですが、知らない街や自然の中を仲間と一緒に歩いてみませんか?新しい発見や出会いがあると思えます。ゆうゆうハイキングも今年で104回を迎えます。「無理せず」「楽しく」歩き続けま。会員の皆様の人会を心から歓迎します。(連絡先 今村牧雄 090-8432-6759)



2021年神宮外苑

令和4年度親睦会役員

- 会長 後藤 勝義(大和田)
- 副会長 石井 修(大和田)
- 副会長 井出 竹安(畑 中)
- 副会長 高瀬 好英(馬 場)
- 会計橋本 淑子(野火止)
- 幹事並木登美江(栄)
- 幹事野口 伸(東北)
- 幹事堤 勇次(新座)
- 幹事前田久美子(西堀)
- 幹事田中ハツエ(新座)
- 幹事佐々木俊一(石神)
- 監事島村 斎(池田)
- 監事高橋美智代(野火止)



親睦会役員

※センター副理事長及びセンター会員監事は第43回センター定時総会及び臨時理事会で選任を受けております。

理事会報告

第1回 (4月27日開催)

- ① 令和3年度事業報告が報告され、承認された。
- ② 令和3年度計算書類及び附属明細書並びに財産目録について報告され、承認された。
- ③ 公益社団法人新座市シルバー人材センター(以後、新座市SC) 職群班運営基準(内規)の一部を改正する規程について報告され、承認された。

【業務委託の変動等に伴い、名称の変更、廃止を行う必要が生じたため】

・公共	48 ↓ 40班
・民間業務	新座環境センター班等
・その他	17 ↓ 16班
各種サービス	7班
合計	72 ↓ 63班

- この内規は令和4年4月1日より適用する。
- ④ 令和3年度役員利益相反取引について報告され、

承認された。

- ⑤ SC顧問選任が承認された。(顧問選任者)
 - 1 新座市議会議長 白井 忠雄氏
 - 2 任期 新座市議会議員在任期間

- ⑥ 正会員(4月分) 男性12名、女性5名、合計17名の会員が承認された。

- ⑦ 4月末現在、正会員数は1910名
- 第2回 (5月30日開催)



- ① 令和3年度事業計画・令和3年度計算書類及び附属明細書並びに財産目録について最終確定された。
- ② 第43回定時総会の招集について、日時、場所、総会の目的事項、書面表決の可否等について検討され、承認された。
- ③ 新座市SC職員給与規程の一部を改正する規程が承認された。

認められた。

- ④ 第43回定時総会議案が検討され、承認された。
- ⑤ 第43回定時総会表彰者33名、5事業団体が承認された。また、令和4年度安全標語優秀作品6点が紹介された。

- ⑥ 新座市SCの重要な使用人の選定について承認された。6月1日付 事務局長 片山佳則 (現事務局長心得・主幹)

- ⑦ 収支相償について報告され、承認された。
- ⑧ 令和3年度業務監査・会計監査等の期末監査(令和4年5月20日)の講評が報告された。

- ⑨ 正会員(5月分) 男性7名、女性6名、合計13名の入会が承認された。

- 【5月末現在、正会員数は1905名】
- 第3回 (6月29日開催)

- ① 部会及び委員会構成について検討され、承認された。
- ② 役員利益相反取引について報告され、承認された。
- ③ 正会員(6月分) 男性18

名、女性6名、合計24名の入会が承認された。

- ④ 6月末現在、正会員数は1843名

▼広報委員会からのお願い

会員の皆様からの投稿を歓迎いたします。締め切り日はありません。メモ書き程度でも構いません。思い立ったらすぐにでも投稿ください。SC事務局あてに送っていただくか、SC代表のメール niiza@sjc.ne.jp までお送りください。

- 異論・反論(言いたい放題) 時事呆言(280字程度)
 - ゆうゆうエンタメ(映画・音楽・文学・スポーツ・芸能など。380字程度) その他
 - ゆうゆうエッセイ
 - 私の故郷
 - 思い出の旅
- (いずれも上限620字) 広報委員会

訃報

・小島 元様(71歳) 東北1丁目 謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

編集後記

人生は出会いと別れに充ち満ちている。会社員時代、人事異動の季節に悲哀とワクワク感が一夜にして入れ替わった。定年で去る者と新入社員が、夜をまたいで交差する。

わが広報委員会でも、ゆうゆう通信の編集・発行に尽力いただいた3委員が去り、2委員が新たに加わった。去った方々には長い間、本当にお世話になった。贈る言葉は見当たらないが、人生の次なるステップを豊かに彩って欲しい。

新委員とは、これまでとは違った人生模様を織り成す楽しみがある。

今後も本誌をご愛顧いただき、大きく育んでいただくようお願いする次第です。(大島)

【表紙の吹き】

ケヤキは武蔵野で多く屋敷林に使われる。新座にも立派な古木がある。夏空に堂々とそびえる大樹は、数百年の歳月を伝える。伸びた枝は、突然屋根に落下するので危険なのだそうだ。(吉田)